

証券コード6859

2024年度(2025年3月期)
エスペック株式会社 決算説明

2025年5月26日

代表取締役 執行役員社長 **荒田 知**

2025年度 計画について

続きまして、2025年度計画についてご説明いたします。

2025年度計画のポイント

- ・中期経営計画「PROGRESSIVE PLUS 2027」の初年度として成長戦略を実行
- ・成長投資(モノづくりの高効率化および新製品開発)と株主還元を実行
- ・受注高は、EV・バッテリー向け投資(主に生産用途)が減少すると想定、AI半導体、自動運転、衛星通信市場の需要を獲得し、高水準を維持
- ・製品リードタイムの短縮による受注残高の消化、原価改善・コストダウンにより収益性を向上し、過去最高業績の更新を目指す

2025年度計画のポイントとしましては、
中期経営計画「PROGRESSIVE PLUS 2027」の初年度として
成長戦略を実行してまいります。

受注高は、EV・バッテリー向けの投資が減少すると想定しておりますが、
AI半導体、自動運転、衛星通信市場の需要を獲得し、高水準を維持する
計画です。

また、製品リードタイムの短縮による受注残高の消化、
原価改善・コストダウンにより収益性を向上し、過去最高業績の更新を
目指してまいります。

2025年度 環境認識

世界経済の先行きは不透明であるが、先端技術開発投資は継続する

装置事業	環境試験器	日本：EV・バッテリー向け投資(主に生産用途)は減少するものの、AI半導体、自動運転関連の投資は堅調に推移 中国：自動車関連は低迷するが、半導体関連は期待 ASEAN:EV・バッテリー関連の投資が低調 北米：衛星通信は好調、AI半導体関連の投資に期待 欧州：経済減速により低調
	エネルギーデバイス装置	国内の充放電試験用チャンバーは前期並み
	半導体関連装置	メモリ関連の投資は緩やかに回復
サービス事業	アフターサービス 受託試験・レンタル	アフターサービス：保守契約拡販により堅調に推移 受託試験：EVバッテリーの安全性試験が好調
その他事業	環境保全 植物育成装置	前年度の万博特需が剥落するも植物工場が堅調

ESPEC CORP.

49

こちらは現在のセグメントごとの環境認識です。

世界経済の先行きは不透明ではありますが、先端技術の開発投資は継続すると見ております。

環境試験器につきましては、日本では、EV・バッテリーの主に生産用途の需要は減少するものの、AI半導体、自動運転関連の投資は堅調に推移すると予想しております。

中国は、自動車関連は低迷しますが、半導体関連は期待できると見ております。

ASEANは、EV・バッテリー関連の投資が低調と見ております。

北米は、衛星通信は好調、AI半導体関連の投資に期待しております。

欧州は、経済減速により低調が続くと見ております。

エネルギーデバイス装置は、国内の充放電試験用チャンバーは前期並みと予想しております。

半導体関連装置につきましては、メモリ関連の投資は緩やかに回復すると見ております。

受託試験につきましては、EVバッテリーの安全性試験が好調に推移すると考えております。

2025年度 業績予想

	2024年度 通期実績	2025年度 予想			
		上期	下期	通期	前期比
受注高	67,514	33,500	32,500	66,000	△2.2%
売上高	67,288	31,000	37,000	68,000	+1.1%
売上総利益 利益率	23,987 35.6%	11,500 37.1%	13,900 37.6%	25,400 37.4%	+5.9% +1.8pt
販管費 販管費率	16,460 24.5%	8,150 26.3%	8,750 23.6%	16,900 24.9%	+2.7% +0.4pt
営業利益 利益率	7,526 11.2%	3,350 10.8%	5,150 13.9%	8,500 12.5%	+12.9% +1.3pt
経常利益 利益率	7,793 11.6%	3,450 11.1%	5,200 14.1%	8,650 12.7%	+11.0% +1.1pt
親会社株主に帰属する 当期純利益 利益率	6,003 8.9%	2,500 8.1%	3,690 10.0%	6,190 9.1%	+3.1% +0.2pt
1株当たり当期純利益(円)	274.97	114.51	169.02	283.53	+3.1%
ROE	11.0%	—	—	11.0%	±0pt

ESPEC CORP.

50

続いて、2025年度の業績予想についてご説明いたします。

受注高は、ご覧の通り、高水準を維持すると見ております。

売上高については、豊富な受注残と、国内生産能力増強の効果もあり、2024年度並みとなる680億円を計画しております。

営業利益については、カスタム製品の収益性改善など 装置事業の原価率改善や、受託試験事業の拡大により、85億円、営業利益率は12.5%を目指します。

セグメント別の業績予想

		(百万円)				
		2024年度	2025年度予想			
		通期実績	上期	下期	通期	前期比
装置事業	受注高	57,283	28,430	27,070	55,500	△3.1%
	売上高	57,507	26,420	31,180	57,600	+0.2%
	営業利益	6,610	2,910	4,430	7,340	+11.0%
サービス事業	受注高	8,532	4,520	4,680	9,200	+7.8%
	売上高	8,425	4,210	4,990	9,200	+9.2%
	営業利益	793	490	590	1,080	+36.0%
その他事業	受注高	2,170	800	1,000	1,800	△17.1%
	売上高	1,758	600	1,100	1,700	△3.3%
	営業利益	126	△50	130	80	△36.9%
連結消去	受注高	△472	△250	△250	△500	-
	売上高	△403	△230	△270	△500	-
	営業利益	△4	0	0	0	-
計	受注高	67,514	33,500	32,500	66,000	△2.2%
	売上高	67,288	31,000	37,000	68,000	+1.1%
	営業利益	7,526	3,350	5,150	8,500	+12.9%

ESPEC CORP.

51

こちらはセグメント別の業績予想です。

装置事業につきましては、受注高はやや減少し、売上高は前期並みと見ております。

営業利益は主に原価率の改善により拡大してまいります。

サービス事業につきましては、受託試験の拡大を見込んでおり、受注高・売上高は前期を上回る計画です。

また、営業利益についても主に増収効果により拡大を目指しております。

その他事業につきましては、ご覧の通りです。

2025年度 想定為替レート

■想定為替レート

	2023年度	2024年度		2025年度
	通期実績	上期実績	通期実績	通期想定
USドル(円)	144.59	152.77	152.62	145
ユーロ(円)	156.74	166.05	163.87	160
元(円)	20.13	21.16	21.11	20

2025年度為替感応度 ※1円円安変動時の影響 (百万円)

	売上高	営業利益
USドル	+74	+11
ユーロ	+15	+10
元	+518	+95

想定為替レートおよび為替感応度は、ご覧の通りです。

2025年度 投資計画

(百万円)

	2024年度	2025年度 予想			
	通期実績	上期	下期	通期	前期比
設備投資額	3,690	920	1,670	2,590	△29.8%
減価償却費	1,716	960	1,030	1,990	+15.9%
研究開発費	1,343	1,010	820	1,830	+36.2%

主な投資内容

- ・福知山工場の生産設備増強
- ・国内子会社の生産能力強化
(事業所移転)

主な開発内容

- ・先端技術分野の製品ラインアップ拡充
(主力製品のモデルチェンジ、機種追加)
- ・低GWP冷媒など環境配慮型製品の拡充

設備投資額、減価償却費、研究開発費の計画につきましては、国内工場の生産設備増強や、国内子会社の生産能力強化に向けた投資を計画しております。

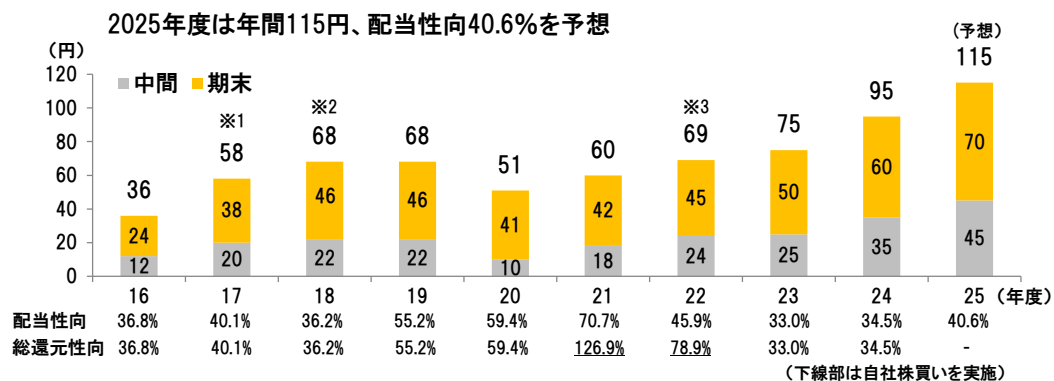
また、先端技術分野向けの製品や、環境配慮型製品を開発していく予定です。

株主還元方針と2025年度配当予想

株主還元方針

配当性向を40%以上とし自己株式取得を機動的に実施
 中期経営計画「PROGRESSIVE PLUS 2027」(2025～2027年度)の期間は、
 3年間累計で総還元性向を50%以上とし減配しない

一株当たり配当金と配当性向・総還元性向



※1.2017年度は創業70周年記念配当2円(中間1円、期末1円)を含む

※2.2018年度は海外連結会社の決算期が15ヵ月間の変則決算 12ヵ月とした場合の配当性向は39%(参考値)

※3.2022年度は創業75周年記念配当4円(中間2円、期末2円)を含む

2025年度の配当予想につきましては、中間45円、期末70円、
 年間115円を予定しております。

2025年度 主な取り組み

装置事業

- ・受注残高の消化、および内製化の拡大による製品リードタイム短縮
- ・ターゲット市場の試験ニーズに合致した高付加価値製品の開発および販売拡大

サービス事業

アフターサービス：「スーパーサポートプラン」や保守契約サービスの販売拡大
受託試験 ：「あいち次世代モビリティ・テストラボ」の売上拡大

エリア戦略

日本：AI半導体、自動運転分野での営業活動強化、買い替え需要の獲得
米国：衛星通信、AI半導体分野への販売拡大
中国：半導体、通信関連などの先端技術分野への拡販

2025年度の主な取り組みとしましては、
装置事業では、受注残高の消化、および内製化の拡大による
製品リードタイム短縮を図るとともに、ターゲット市場の試験ニーズに
合致した高付加価値製品の開発、販売拡大に取り組んでまいります。

サービス事業につきましては、「スーパーサポートプラン」や保守契約
サービスの販売拡大、および「あいち次世代モビリティ・テストラボ」
の売上拡大を目指してまいります。

エリア戦略につきましては、日本、米国、中国において、
ターゲット市場での販売活動を強化いたします。

2025年度 ESGの主な取り組み

■E(環境)

- ・第8次環境中期計画(2022～2025年度)の推進
- ・地球温暖化対策:
低GWP冷媒への置き換え、製造など事業活動におけるCO₂排出量削減
- ・生物多様性保全活動:
環境保全事業による貢献、「エスペック50年の森」運営による保全活動の推進

■S(社会)

- ・人的資本戦略の展開、人材育成
- ・インターナルコミュニケーションの推進、従業員の健康増進と安全確保、
エンゲージメント調査の実施
- ・女性管理職の育成、障がい者雇用の促進と定着化

■G(ガバナンス)

- ・BCPの再構築
- ・人権方針の策定

ESGの取り組みにつきましても、ご覧のとおり、着実に進めてまいります。

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。
それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、
当社が計画・予測したものであります。
実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合
があり、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

【お問い合わせ先】 エスペック株式会社
〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6
TEL 06-6358-4744 FAX 06-6358-4795
e-mail ir-div@espec.jp
サステナビリティ推進部 部長 中川
IR・広報グループ 大川・貝川

ESPEC CORP.

以上をもちまして、私からのご説明を終わらせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

Quality is more than a word

ESPEC

ESPEC CORP.